

第8回香南ししまるスポーツクラブ杯

全国シニアパドルテニス大会参戦記

2016年4月3日

藤クラブ 高島和男

今回、香川県で行われたこの大会に参加することとなったきっかけは、中野フレッシュの渡部孝子さんが以前より親交のあった大会の主催である香南ししまるスポーツクラブの会長の太田盛廣氏より大会への参加のお誘いがあったことでした。香川県での大会と聞き、私も昨年の11月に訪問してVol.15で紹介させていただきました香川県高松市木田郡三木町にある「三木パドルテニス協会」の廣瀬義一会長やクラブメンバーの方々との再会が果たせるのではないかと期待して参加させていただくことにしました。今回の大会には、私を含め中野地区から4名、練馬地区から2名の計6名が遠い東京地区から参加しました。

参加に際しては、俗にいう顎・足・枕は自費のこと参加費の1,500円も、もちろん自腹での参加です。私たちと同様に、パドル楽しみたい、普段だったら親交を持つこともできないであろう人たちとパドルという共通の趣味を通じて親交を深めていきたいと思う参加者が私たちの他にも千葉県、岐阜県、滋賀県、山口県、福岡県といった広い範囲から多く集まりました。

第8回香南ししまるスポーツクラブ杯全国シニアパドルテニス大会での模様をご紹介させていただきますと、大会は4月3日(日)高松市香川総合体育館で行われ、大会当日は男性60歳以上、女性55歳以上の人たち60名が参加して男子の部、女子エンジョイの部、男女混合の部Aグループ、Bグループの四つのグループに分かれて熱戦が繰り広げられました。

私は、大会の主催者でもある香南ししまるスポーツクラブの副会長の伊賀有輝子さんと初対面のコンビを組み、また中野フレッシュの渡部孝子さんは同クラブの会長太田盛廣さんとコンビを組んで戦いに臨みました。幸いにも東京から参加した6名は、岡田・桐生組が男子の部で三位に入り、八ツ田・堀口組が男女混合部で優勝、太田会長・渡部組が準優勝、そして伊賀副会長と私の組が第三位に入り東京から参加した6名全員が表彰されるという、すばらしい成績を収めることができました。

さらに、私たち六名は大会終了後に行われた香南ししまるスポーツクラブの練習にも参加を要請され、全員がくたくたになりながらもパドルに熱中する人たちの輪の中に入れ、とても清々しく感じられる充実した時間を過ごすことができました。練習後には、クラブの有志の方々となぜか焼肉屋で刺身を囲み(笑い)親睦を深めました。その席で、大会を主催された香南ししまるスポーツクラブの太田会長は、香川県のパドル人口をもっと増やし全国のパドルファンにも香川県のパドルに対する熱い情熱や取組をもっと知ってもらいたいという熱くて強い気持ちを話してくださいました。